

藤阪校区福祉コミュニティだより

ふじさか

発行責任者
藤阪校区福祉委員会
赤木 功

藤阪校区コミュニティ協議会
西田 政充

編集責任者
井上 茂

田口山校区、菅原校区と藤阪校区で

「広域避難版地区防災計画」を策定

第1次避難所となっている藤阪小学校
田口山小学校、菅原小学校の位置



地図は枚方市作成の「きてみてひらかたマップ」より引用

『広域避難版地区防災計画』の概要

1 計画の対象地区の範囲

本計画の対象範囲は「藤阪校区、田口山校区、菅原校区」とし、藤阪校区の住民が田口山校区および菅原校区の指定避難場所にも避難ができるように定めた計画とする。

2 基本的な考え方

有事（河川氾濫等）の際に避難場所等において混乱が生じないように、相互の情報交換および共存共栄であることを目的とする。

なお、本計画は、策定した校区の長期的な安全と持続可能性を確保するための共同の取り組みであり、会長の任期や変更に関わらず、地域全体の合意と協力のもと継続的に実施する。

私たちの藤阪校区と田口山校区、菅原校区との間でこの度、豪雨被災時の避難対策について合意した『広域避難版地区防災計画』を策定しました。藤阪校区の第1次避難所（藤阪小学校）は低地にあつて豪雨被災時には危険なため、藤阪校区の皆さんが田口山小学校や菅原小学校にも避難できるようにすることをもとに協議を重ねてきたものです。

藤阪校区の第1次避難所となっている藤阪小学校は、枚方市防災ガイド「穂谷川洪水ハザードマップ」で豪雨時に浸水被害に遭う危険性があるとき、昨年6月に田口山校区の自主防災会と約束を結び、10月には両校区合同で広域避難訓練を行いました。そのため藤阪校区自主防災会は、豪

雨時に校区の皆さんが田口山小学校に避難しても受け入れていただけよう、昨年6月に田口山校区の自主防災会と約束を結び、10月には両校区合同で広域避難訓練を行いました。そのため藤阪校区自主防災会は、豪

雨時に校区の皆さんが田口山小学校に避難しても受け入れていただけよう、昨年6月に田口山校区の自主防災会と約束を結び、10月には両校区合同で広域避難訓練を行いました。そのため藤阪校区自主防災会は、豪

その訓練の結果などを踏まえて藤阪校区自主防災会は、避難場所をさらに拡充するため、校区の皆さんが菅原小学校に避難しても受け入れていただくよう菅原校区自主防災会と協議を重ねてきました」と述べています。

また。その結果、今年1月に田口山校区、菅原校区、藤阪校区による『広域避難版地区防災計画』の策定に至りました。

藤阪校区自主防災会の西川明会長は「今年1月1日の能登半島地震は大きな爪痕を残し、いまだ多くの方々が不慣れた生活を強いられています。私たちもいつ起こるか分からない大災害に備え、日頃から防災意識を高めておく必要性を痛感しています」と述べています。

藤阪校区の皆さんの豪雨時安全確保のために

一人暮らし 高齢者の 新年の集い

美声に感動 みんなで合唱



〈写真上〉阿部さんの日本歌謡に感動 〈左〉幸運の「獅子の頭噛み」は今回も大人気

今年度の「一人暮らし高齢者の新年の集い」を1月8日(月)藤阪公民館で行いました。

今回のメインは、梅村知加さんのエレクトーン伴奏による阿部俐希さん(プロ)の昭和から平成時代の日本歌謡の独唱。シャンソンの「オー・シャンゼリゼ」では会場のみんなどの「おおシャンゼリゼ」の大合唱が

会場に響き渡りました。恒例になった地域包括支援センター大潤会の皆さんによる幸運を授かる「獅子の頭噛み」には多くのリクエストが続き、ビンゴゲームではなかなか「ビンゴ」の声がからなかったものの全員に記念品が渡り、和やかな時間を過ごしました。まだ収まらないコロナ感染症の防止のため、今回も会場での会食は控え弁当を持ち帰っていただきました。



今回参加の皆さん。あれ、もう一人は？ ママの腕の中でお寝んね



ママと腹筋、リズム遊び。中央上が寺島先生

子育てホットサロン

元気なママが一番

本年度3 8日(金)藤阪公民館で開催の「子育てホットサロン」を3月 催しました。今回は4組5人の親子が



絵本の「金魚が逃げた」で金魚探しに夢中

参加。前半は明善めぐみ園の寺島先生による手遊びや歌を楽しみました。先生からの「ママが疲れず元気でいることが子どもたちが一番うれしいのよ」の言葉にママたちもスタッフも感銘を受けました。

後半は紙皿のタンバリンを作り、みんなで曲に合わせてタンバリンを上手にたたきながらダンスをしました。

この3月で子育てサロンを巣立つお子さんに花束を渡し、今回も楽しく過ごしました。

次回ホットサロンは7月5日(金)です

ひらかた元気 くらわんか体操

ちびっこ広場

日時：毎月第1・第3木曜日
午前9時30分～15分ほど
場所：市立図書館藤阪分室の横

平和苑 藤阪公園 三角公園

日時：毎月第2・第4木曜日
午前9時30分～15分ほど
場所：藤阪平和苑集会所の横

主催・問い合わせ
元気かい！藤阪 事務局
枚方市地域包括支援センター
大潤会 ☎072-857-0330

元気いっぱい パワーアップ

藤阪西町いきいき ふれあいサロン

「藤阪西町いきいきふれあいサロン」を3月9日(土)藤阪ハイツ管理センターで自治会と共催で開催しました。

しい時間を過ごしました。河内音頭の銭太鼓やよさこい鳴子の踊り、高齢者を励ます替え歌、脳トレのための指遊び、懐かしい銀座のカンカン娘の歌などで全員が身心ともにパワーアップしました。



62人の参加で会場は満席となり、「さんさん銭太鼓」さんによる多彩な演舞で楽し

また、減多に観られない珍しい分身人形の踊りも披露され、写真や動画を撮る人もあり、あつという間の1時間でした。

「来年のふれあいサロンも楽しみにしています。」

すよ」との声もいただきました。



〈写真右〉「さんさん銭太鼓」さんの演奏
〈上〉銭太鼓を体験



珍しい分身人形の演技に魅せられました

藤阪ふれあい食事会

アレ?アレ?動きが違うぞ



右!左!上!下!なんかややこしいけど体と頭すっきり

令和5年度最後になる「ふれあい食事会」を、2月24日(土)に藤阪ハイツ管理センターで開催しました。

会の初めに地域包括支援センター大潤会の八田さんから「高齢者の振り込め詐欺被害が増加しているので注意してください」とのお話をいただきました。訪問介護ステーション「輝き」の3人の療法士さんによる健康体操では、椅子に座ったままで出来る体操を指導していただきました。手を上げて下ろして、左?右?アレ、アレいつもと動きが違うぞと戸惑いながらも、日頃の行動にひとひねりした動きを入れるだけで転倒予防や頭の体操になることを学びました。

世代間交流にうれしい手紙



子どもたちからのうれしいお便り集

昨年11月24日に開催した世代間交流のお礼のお手紙が藤阪小学校1年生と2年生の児童から届きました。

「むかしあそびはむずかしかったけどがんばった」「いえでもやってみた」「おしえてもらえてうれしかった」などかわいい感想が盛り沢山でした。

藤阪西公園にスロープ 自治会の働きかけで

た。そのため、令和2年に藤阪ハイ



完成したスロープで公園の出入りが楽になりました

わがまち情報

地域住民の憩いの場であり、災害発生時には一時避難場所にもなる藤阪ハイツのバス停前にある藤阪西公園にスロープが設置されました。当公園は周辺道路から約1・5メートルの高さにあるにもかかわらず、これまで石の階段を昇り降りして出入りしなければならぬ不便な状況でした。

自治会から藤阪西公園の管理者である枚方市に對してバリアフリー化を求める要望書を提出した結果、スロープ設置が実現したものです。

地域住民からは「公園が利用しやすくなった」という喜びの声も出ており、自治会活動によって「安全・安心で人に優しいまちづくりの推進」を図ることができました。

1本の木に赤と白と 源平梅 ゲンペイバイ



草木編 1

春を彩る梅は、紅梅が先に咲き白梅が続いて開花します。



山田池公園の梅林に咲く源平梅

山田池公園の梅林で、白梅に赤色の花があったので調べてみると、源平梅と云われているのです。なぜ1本の木に赤と白の花が咲くのでしょうか。それは、白い花の木に赤い花が咲くのではなく、もとは紅梅の木に白梅が咲くという構図です。このような現象は梅だけではなく、桃や椿、ツツジ、アジサイなどにもあるようです。

赤い色はアントシアンという色素から作られますが、赤くなるためには多くの酵素を必要とする様々な過程を踏まなくてはなりません。この酵素がひとつでもうまく働かなくなると、赤い色になれずに白い花のままとなってしまうのです。

文・写真：立花 祐一

編集後記

今号から「藤阪の自然」草木編がスタート。藤阪ハイツ在住の立花祐一さんに担当していただきます。立花さんは、身近な自然や植物に触れてみたいと、主に山田池公園や藤阪ハイツ内の多くの草花や樹木などを調査・撮影してDVDに記録され、2016年にこれらをまとめた冊子『ふるさとの草木を尋ねて』を出版されました。これからどんな草木が登場するか、お楽しみに。<T>

令和5年度 歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございました
ご協力の結果 **218,308円**
(令和6年3月8日現在)

今後の活動予定

3月
28日(木) 藤阪元町・南町・天神町・王仁公園ふれあいサロン

4月
4日(木) 藤阪小学校入学式
5日(金) 杉中学校入学式

令和5年度 枚方市機関紙コンクール 当紙が2年連続部門優秀賞

令和5年度枚方市機関紙コンクールで本紙、藤阪校区福祉コミュニティだより『ふじさか』101号が、昨年度に続き自治会・コミュニティ部門の優秀賞を受賞しました。「写真が状況を的確にとらえ、見出しの付け方や配置など読み手を意識した紙面構成」「地域の話題を取り上げる取材料」などが高く評価されました。今コンクールには32団体が応募し、13団体が2月20日(火)に枚方市長から表彰を受けました。